

第3章 開校Ⅱ 新たな出発

白高と白女が統合し、新生「宮城県白石高等学校」が誕生した。歴史ある2つの高校の「統合・共学化」―それは「新たな出発」を意味する。この新しい高校で学ぶ生徒たちは、どんな「加学反応」を見せてくれるだろうか。そして、私たち市民はどうかわかっていけるのか。第3章では、新白石高校を紹介するとともに、さまざまな方たちの思いをつづる。



1 入学生入場。両校の同窓生にとっては、男女共学の風景に不思議さを感じるかもしれない 2 入学生を代表して豊島健太さんが力強く宣誓した 3 開校式で県教育委員会から千田校長（右）に校旗が手渡された 4 新しい校歌が合唱部と生徒会執行部による混声四部合唱で披露された 5 新しい応援団旗。旧白高・旧白女の応援団（現3年生）が集まり、話し合いを重ねデザインを考えた。両校の校章の中央に、応援団の「團」の字を合わせた

【校訓】

志操凜風：高い志と豊かな情操を備え、凛然として、また風のようにしなやかに周りをつつみ込む器量を持った人格を育む。
進取創造：本来の真摯勤勉な資質に加え、能動的で創造性あふれる気概と展望をもって新しい時代を切り拓き、広く世に貢献できる有為な人となることを目指す。
自強不息：つとめて止むことのない努力、たゆまぬ自己研鑽こそが真に学ぶ者のあるべき姿、真の主體的な人間の生き方であるとの意味で、日々の実践的姿勢として心掛ける。

【校章の由来】

白石の「白」をモチーフにして、大きく羽ばたく鳥を表した。3つの校訓を意識して、素晴らしい未来に向かって大きく飛躍する白石高校を図示（214点の公募から小松秀男氏（気仙沼市）のデザインを採用）
【スクールカラー=オメガブルー】
白銀の残雪をいただいてそびえ立つ不忘山や、澄んだ流れの白石川の鮮やかで深い青色は、凛然・清冽な生徒の気質や校風を表す

新生白石高等学校校歌

一、雄々しき蔵王の峯々に 傲いて高き志操もて
凜たる風を興しつゝ 万のすがた究めんと
励む我等を黙し待つ 真理の声を聴けや友
二、白石川を往く水に 世々の歩みを想いつつ
易らぬ生命尊きと 新たな時代の理想をば
常に求めて創造りゆく 我等の業を頌え友
三、歴史は古き益岡や 学び鍛えし先達に
躓きて我等は進み行く いざ毗を高く上げ
自強息まざる気概もて 践むべき道を望め友

※新しい校歌は、作詞・作曲ともに旧白高・旧白女の同窓生によって制作された。

宮城県白石高等学校

21世紀の社会を担う人材育成 両校の伝統を継承・発展させ、新たな歴史を築く

開校Ⅰ 共学化と第1回入学式

白石城の桜の開花が宣言され、春の訪れを感じさせた4月8日、白高と白女の統合によって誕生した、新生「白石高等学校」の開校式と入学式、そして第1回入学式が開催された。午前10時からの開校式では、宮城県教育委員会から「開校宣言」があり、千田芳文初代校長に新しい校旗が手渡された。続いて入学式が行われ、旧白高・旧白女を過ごした新2、3年生が、新しい校舎での夢を新たにした。生徒を代表して、旧白高の我妻克哉さんと旧白女の梶賀まな美さん、七ヶ宿校の高橋美貴さんがあいさつ。梶賀さんは「学校が変わったとしても、これまで築き上げてきたものを種としてまき、新しい芽を育てていきます」と述べた。とはいえ、制服と私服が入り交じった光景には、これまで別学で過ごしてきた生徒のとまどいやざこちなさがまだ感じられた。そして、同日の午後1時から入学式が開催された。真新しいスクールジャケットに身を包んだ普通科240人、看護科40人、七ヶ宿校17人の計297人が、1人ずつ担任から名前を呼ばれ、第1回入学生として千田

校長から入学を許可された。どこか幼さの残るその顔には、「緊張・期待・不安」といったさまざまな思いが入り交じっていた。そして、入学生を代表して豊島健太さんが、「白高・白女の歴史に恥じぬよう勉強・部活動に励むとともに、白高生としての誇りを持ちさまざまなことに挑戦していきます」と、緊張しながらも力強く宣誓した。またこの日は、白女の5年制看護科を引き継いだ、専攻科の入学式も行われ、36人が白衣の天使への第一歩を踏み出した。

統合決定までの経緯 ―両校への思い―

歴史ある両校の統合。ここまでの道のりは、一朝一夕では語れない多くの方々の努力があった。県内で高校の再編が進む中、県教育委員会が平成13年に統合・共学化を発表。それ以降、統合・共学へのさまざまな意見が新聞報道をにぎわした。そんな中、平成18年に白高と白女の同窓会長や歴代生徒会長などが集まり、基本課題検討会議が発足。高校の名称や新高校のビジョンなどを話し合った。最初はやはり、それぞれの思いがぶつかったという。次第にまとまりこの日を迎えた。

「学び」と「問い」を ひらき ささえふ かめる

これは新白石高校のスローガンである。千田校長が入学式で「自ら学び自ら問いかける、心と体を鍛えることを惜しまない、そんな白高生であってほしい」と述べた。1年生は義務教育を離れ、自分が進むべき道を探し始める。2、3年生は、自分の夢を実現するために、そして新たな伝統と校風を築こうとまい進する。本年度の全校生徒は767人。それぞれの思いを乗せて、新たな高校がスタートした。